

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：鶴城地区	開催日時：令和6年5月7日（火）	18時30分 ～ 20時15分
担当班：第1班（出席議員）大竹俊哉、笹内直幸、長谷川純一、大山享子、松崎新		
開催場所：鶴城コミュニティーセンター		
参加人数：男性5名、女性4名、合計9名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名） ※猪苗代町議会事務局職員が出席（一箕町在住）		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 都市計画道路藤室鍛冶屋敷線城前工区の道路拡幅工事について ② 市政全般について（市のまちづくりに向けた課題） ごみステーション設置の補助金の在り方について (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ「スポーツを通じた地域づくりについて」 ② テーマ設定の理由、背景 鶴城地区の活性化につながるスポーツを通じたまちづくりの現状と課題を伺う。 ③ 主な地域課題 子どもの減少により地区スポーツ組織が少ない。 区長会では、体育連盟、子ども会、青少協から核となる組織がないとの声が上がっている。		

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	議会報告についてご意見を伺う。				
城前工区の道路拡幅工事についての内容の説明をしてほしい。	都市計画マスタープランの中で国道118号から東山街道までの道路建設計画であったが、予算がつかず、整備の計画がなかった。しかし今年度、県立病院跡地の複合施設建設に係る交通渋滞の解消のための道路建設計画が、国から有利な条件の予算が付いたことから調査費用が予算化された。 約2メートルの拡幅の計画である。	○	①		道路
道路拡幅問題を、10年前から市に尋ねてもこの拡幅はないと言われてきた。今回急に決められてきたが、どのような経緯でこの計画になったのか説明してほしい。行政の話しには、疑問がある。	2年前の「市民との意見交換会」でこの道路は、狭いために歩行者や自転車が通るのに危険であるから何とかしてほしいと要望を受けていた。今回のこの計画は、県立病院跡地の子育て支援施設の建設工事が始まると交通が混雑することから、道路の拡幅工事をするにあたり国からの予算が出ることにより事業が進められる。	○	①		道路
東山から国道118号を超えて竹田病院までの計画なのか。	今回は、第二中学校交差点から若松小田垣郵便局の交差点までとなっている。	○	①		道路
県病跡地の施設は、子育て施設とあるが様々な世代が利用できる施設とするべきではないか。	公設民営化により整備される予定であり、秋ぐらいには方向性が分かる予定である。	○	①		まちづくり
地域が一番大事である。今日の意見交換会に参加するよう若い人たちに声をかけたが参加していないのが残念である。このような機会を利用して地区がまとまり様々な要望を挙げてほしい。私は、家の前を通って通学をする子どもたちに声をかけている。元気に返事が返ってくるのが大変にうれしい。	発言感謝申し上げる。	○	②		まちづくり

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみステーション設置の補助金を廃棄物対策課に申請したが、令和4年度は予算が無くなり助成してもらえなかった。設置後の事後申請も担当と何度も話をしたが、取り合ってもらえなかった。「ごみステーション美化事業助成金」の予算額が少ないために町内会のニーズに応えられない。予算の増額の要望をしたい。また、修理など事後申請を可としてほしい。	ごみステーションを設置しようとした際、市有地への設置許可申請手続きやごみステーション作成費用の見積りを取っている間に、令和4年度の補助金が限度額に達してしまい、運用と設置のタイムラグが原因となって補助金が受け取れず、設置費用が町内会の負担になったしまった事例と受け止める。しかしながら、公共工事もそうだが補助事業は補助金交付決定以前の事業着手は認められないものとなっているのでご理解頂きたい。確かに、その前年から発言者は何度も担当課とやりとりをしており、発言者が主張する「令和4年度に必要なことが前年度に解っているのにも関わらず、アフターフォローをしないのはおかしいのではないか」という主張にも同情を禁じ得ない。市は、ほとんどの事務事業において事前申請が原則であり、今回の事例も市の職員に齟齬は無いものと考えてるが、連絡を密にとっていけば防げたことでもあるので、今後の仕組みづくりの参考にしたい。	○	②		環境
市民からの声に向き合うことのできる市民相談や苦情を扱う部署を創設してほしい。	市民相談や苦情を扱う部署については、市の事務事業があまりに膨大なので現実的ではないと考える。	○	②		行政

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
助成金・補助金・給付等の取り扱いを相談から手続きを一元化した部署の創設をしてほしい。	助成金、補助金、給付金の取り扱いを一元化した部署の創設については、これまでも同様のご意見を頂いたり、私自身本当に解らないことが多いので、情報弱者や交通弱者でも解りやすい手続きとなるよう市へ求めている。	○	②		行政

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
議員は、事後申請についてこの問題をどのように考えているのかそれぞれの意見を聞きたい。	意見交換会は「市民と議員の意見交換会」ではなく、「市民と議会の意見交換会」であるので、代表してお答えする。事後申請でも受け付けたり、清算払いをしている事務事業が既にあることから、不可能ではないと考える。ただし、公金を動かす場合には関係法令や根拠条例がなければならない。事業費が不足した時は、補正予算で増額することで事業を進めることが可能となる。今後、所管の委員会や議会内で議論を深め、市民の皆さんの努力に報いられるような仕組み作りに取り組んでいきたい。	○	①		環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → スポーツを通じた地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	鶴城地区の活性化につながるスポーツを通じたまちづくりの現状をお話しいだきたい。			
鶴城地区のスポーツ組織と運営状況だが、子どもたちの減少により地区のスポーツ組織が減少傾向にある。現在ミニバスケットボール、ソフトボール、ソフトバレーボールの3団体が体育連盟として活動している。昨年度まで卓球クラブが活動していたが、高齢化で団体が無くなったと聞いている。地域での活動は、小学校との合同運動会がある。今年は、熱中症対策で昼食を取らないで解散することになっている。	皆さんは、どのようなスポーツであれば参加したいと思うか。	○	②	
また、今年で3年目になるが鶴城とオリンピックを掛け合わせた「鶴オリンピック」を体育連盟自主事業として行い、50メートル、100メートル、1,500メートル、ボール投げ、走り幅跳びの5種目の記録証を作成し記録と記憶を残す大会にしようと実施している。				
地区のそれぞれの団体もこのような意見交換会に参加し私たちの生の声を聞いてもらうことで、地区の発展に結び付くのではないか。		○	②	
スポーツを通じた地域づくりは分かりにくいと感じる。スポーツはしたい人がするもので、スポーツのメニューがない中で、参加しろと言われても理解できない。しかし情報やきっかけがあれば、参加できると思う。	体育連盟の規約に地域住民の活性化と健康増進のためにとある。昔は地域の中でのスポーツが盛んであった。今は、ニュースポーツがある。情報を共有し、団体と参加希望者等をつなぎ、参加できる仕組みがあればよい。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → スポーツを通じた地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
一箕町に移住してきたが、子どもがいないために地域のイベントに参加しにくいと感じている。同じよう移住して来た子どものいない若い住民は、このような地域のイベントに参加できず孤独を感じるといった声がある。移住者への取組としてスポーツを通じたコミュニケーションの場を作っていただけたら良いのではないかな。	移住者への取組として地域おこし協議会によって若者を交えた事業を行っている地域がある。情報を共有し、アドバイスを行う人がいると良い。	○	②	
鶴城地区には、核となる組織がない。コーディネートできる人も組織もないと思う。きっかけが見つからない。	町内会の組織を担っているのが市民部環境生活課、まちづくりや地域づくりを担っているのが企画政策部地域づくり課、福祉を含めた地域の活性化を進めているのが健康福祉部の地域包括システムである。町内会だけを見ていくのではなく地域全体を見ていく必要がある。	○	②	
私の一箕地区では、区長会とそれぞれの委員会が一緒に行事を行っている。例えば、保健委員会が行う行事があれば体育連盟と区長会が連携している。体育連盟の行事も同じである。コーディネーターはいないが、連携して進められている。今年も小学校との合同運動会が開催される。	今年度実施している例として、行仁地区では地域おこし協力隊を配置し、中心市街地の地域づくりをどのようにするのか、核になるのはどこか、集うところはどこか、それを誰がやるのかなどを検討している。	○	②	
鶴城地区の区長会は、体育連盟、子ども会、青少年協の各会からの声で核になるものがないという声がある。今年度からコミセンを中心とした、組織づくりが進められている。	コーディネートは市の職員が行い、地域おこし協力隊と一緒に地域の声を聞いていかないと進んでいけないのではないかと議会として問題提起をしている。	○	②	
ニュースポーツの道具は、どこから借りられるのか。	スポーツ推進課で貸し出ししている貸出器具一覧を伝える。	○	②	
スポーツ推進課にある。				

○ 地区別テーマでの意見交換について → スポーツを通じた地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
今まで何度も意見交換会に参加しているが、今日の話し合いは良かった。まともな議員の話が聞けた。私は、健康づくりとしてスポーツを1人で行っているが、なかなか皆と一緒にすることはできないと思っている。	発言ありがとうございます。	○	②	